

令和6年度 第1回まちづくり部会

令和6年11月13日 in 中央図書館

『重度心身障害児者、医療的ケアが必要な人たちの生活について語り合おう』

重度心身障害児者、医療的ケアが必要な人たちの生活について語り合う場をもち、27名の参加がありました。
初めて参加の方も多かったため、赤磐市障害者自立支援協議会(ピーチネットあかいわ)の概要も共有しました。



井戸端カフェ



今回の問い
「重度心身障害児者、医療的ケアが必要な人たちが、安心して住み続けるためにみんなと一緒に考えていきたいことは何ですか？」



参加者からの感想

- 生活に対する不安を話せてよかった。いろいろな立場の方とお話できる機会は大切だと思った。(当事者)
- いろいろな方と話が聞けて良かったです。支援者の方が困っていることがわかって保護者も考えていく気づきも教えてもらいました(保護者)
- 知らない事がいっぱいでした。(保護者)
- 他の障害を持つ親の話は参考になりました。障害が違って共通している悩みもありました。(保護者)
- 話したいことがたくさんありすぎて時間がたりませんでした。(保護者)
- 立場、年齢関係なく話せる、聞けるという井戸端カフェ型がいい。(保護者)

- リアルな声をきくことができて良かった。親なき後の不安の重さがとても伝わった(支援者)
- 当事者の方の生の声がきけて良かった。(支援者)
- ご家族の将来の不安やまだまだ足りていない資格保持者が少ないことを学んだ。(支援者)
- 情報交換ができて良かった。自分の思っていることが言える場でもあり良かったです(支援者)
- いろんな経験の方のお話がきけて良かったです。(支援者)
- 重心の方の家族のケア、不安はとても大きく感じています。(支援者)
- 時間が足りないような気がします。お話が出来ていない方がいるので、次はたくさんの方とお話したい。(支援者)